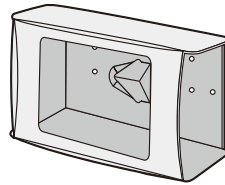


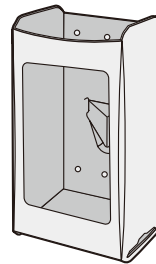
オオサキPPEホルダー プラ 1910S 1個入

マスク用

取扱説明書



ヨコ向き



タテ向き

JANコード 品番 74625



GS1-128



(01) 0 4971032 74625 8

< 内容物 > ● 本体 …… 1個

< 別売 >

①-① (A) マグネット 標準磁力タイプ (品番57059) …… 2個



2個

①-② (B) マグネット 強磁力タイプ (品番74613) …… 2個



2個

② 壁付ネジ (品番74614) …… 4本



4本

③ スチールプレート (品番57060) …… 1枚



1枚

組み合わせ方

- 壁への取り付けは①または②のどちらかが必要です。
- さらに③を組み合わせると、本体をまとめて設置できます。

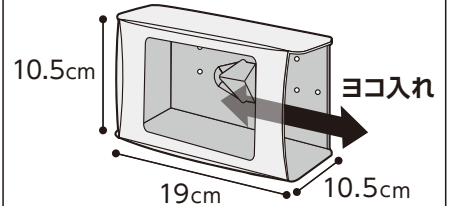
※ 設置対象物に合わせて磁力の種類を選んでください。

(ネジ4本・アンカー4個)
※ ②壁付ネジは本体2個分に使用できます。
(本体1個に使用するネジは2本です。)

※ 別売の②壁付ネジが2袋必要です。
(プレート1枚に使用するネジは6本です。)
※ ①と併用する際は“②強磁力タイプ”を推奨します。

< 内寸法 >

- 幅19cm × 高さ10.5cm × 奥行10.5cm (このサイズより小さい商品が入ります。)



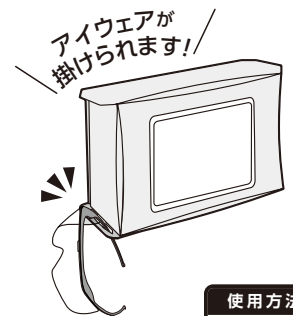
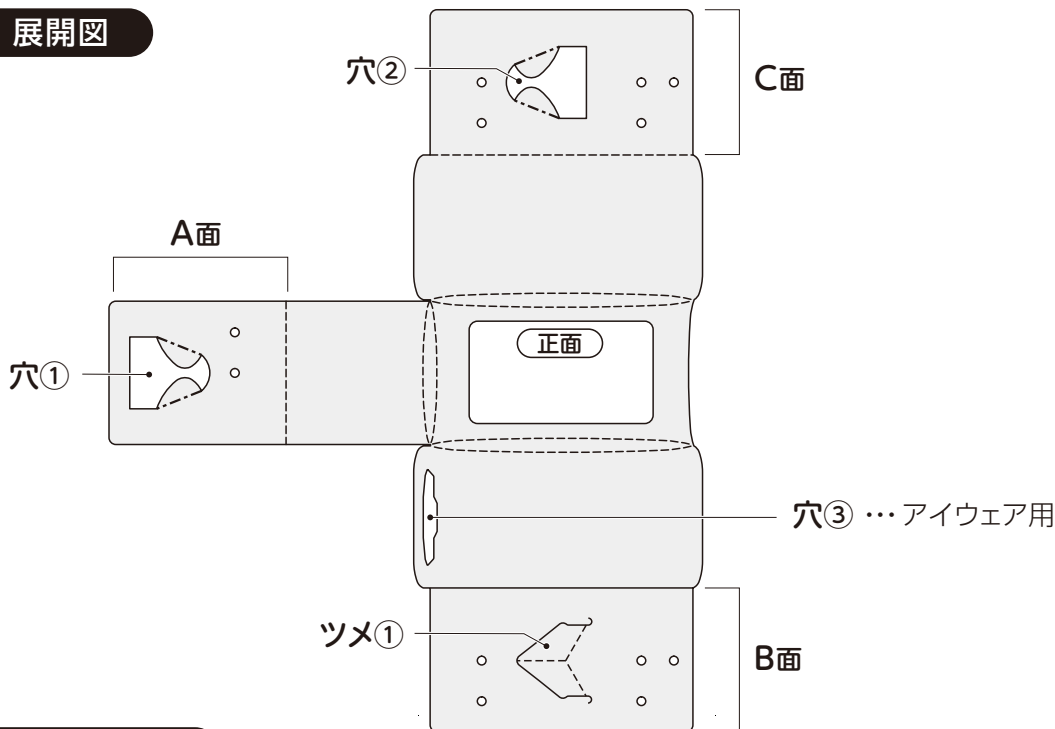
山折り



谷折り



展開図



組み立て方

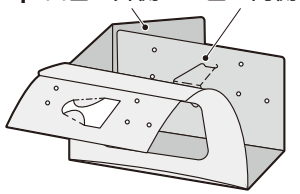
- 展開図の折り線に沿ってあらかじめ折り目を入れると、組み立てやすくなります。
- 組み立ての際は手袋などで手を保護し、ケガをしないよう注意してください。



使用方法

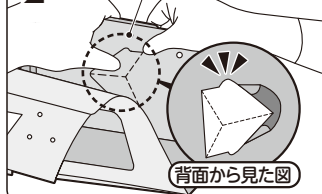


1 A面を外側 B面を内側



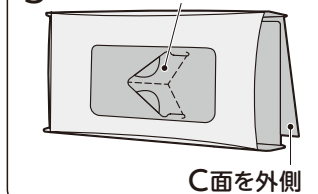
展開図の向きに開き、A面を外側、B面を内側にして重ねます。

2 ツメ①/穴①



正面から指で「ツメ①」を「穴①」に押し込みます。「ツメ①」が背面から飛び出すまで押ししてください。

3 ツメ①/穴②



C面を外側に重ね、「ツメ①」を「穴②」に押し込みます。

Osaki

オオサキメディカル株式会社

名古屋市西区玉池町203番地 〒452-0812

<https://www.osakimedical.co.jp/>

お客様相談室 0120-15-0039

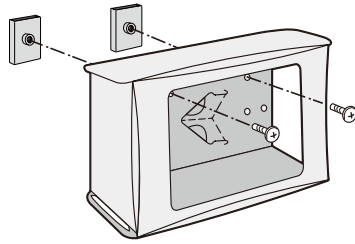
受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

本体材質: PET 日本製 145007-02 W290×H325×D50

取り付け方は裏面にあります。>>>

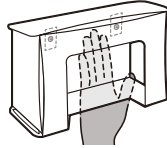
取り付け方

①「マグネット」で固定



正面内側からネジを通し、背面からマグネットをドライバーで回し締めしてください。

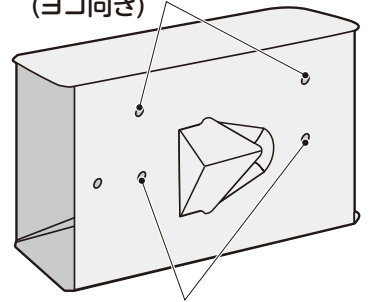
〈ホルダーの外し方〉



ホルダーと壁の隙間に手を入れ、手のひら全体でホルダーを手前に引っ張って外してください。
※磁力が強いため、無理に引っ張るとホルダーが破損する恐れがあります。

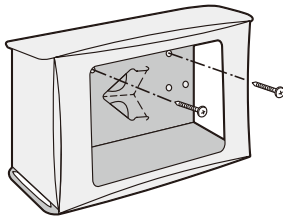
取り付け穴(背面)

①マグネット/②壁付ネジ (ヨコ向き)



①マグネット/②壁付ネジ (タテ向き)

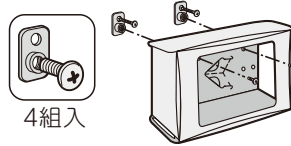
②「壁付ネジ」で固定



壁にネジを仮留めし、水平な位置を確認した後、ネジを増し締めします。

この用紙左部の⊕印を、仮留め位置の目安にできます。
(用紙を横向きにしてください。)

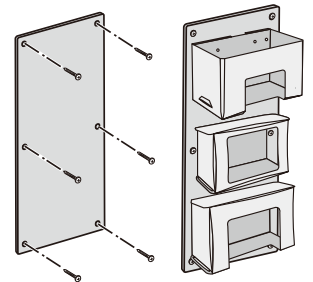
〈別売「壁付ボルト・ナットプレート」の併用〉



4組入

「壁付ボルト・ナットプレート(別売)」(品番57058)を併用すると、壁に取り付けたネジを外すことなくホルダーの交換ができるため、壁を痛めにくくなります。

③「スチールプレート」で設置



スチールプレートをネジで壁に留めます。マグネットの付いたホルダーをスチールプレートに取り付けます。

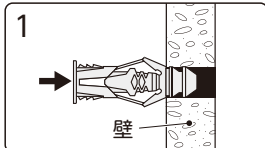
「②壁付ネジ」で取り付ける場合は、この印を仮留め位置の目安にしてください。
(「用紙上部からネジ穴までの高さ」と「2本のネジ穴の高さ」と「2本のネジ穴の距離」が実際のPPEホルダーと同じになっています。)



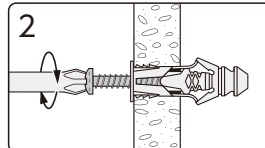
〈アンカー使用方法〉



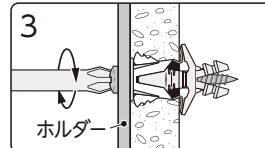
直接ネジを締め付けることができない壁(石膏ボードが張ってある中空構造の壁など)にはアンカーを使用してください。



ドリルなどであらかじめ壁に6mmの下穴を空け、アンカーを差し込みます。入りにくい場合はハンマーで軽く叩いてください(無理に叩くと壁が割れる場合があります)。



ネジをアンカーに途中まで差し込んだ後、PPEホルダーを挟んで一緒に締め付けてください(インパクトドライバーを使用する際は、低速で確認しながら取り付けてください)。



頭部までネジが入った後、さらにネジを5回転(目安)させてください。

アンカー仕様

〈ドリル径〉
6.0mm

〈最大引抜強度(石膏ボード)〉
・ 9.5mm厚ボード…16kgf
・ 12.5mm厚ボード…23kgf
・ 15.0mm厚ボード…32kgf
※適応壁厚8.5mm以上

〈対応可能な壁の種類〉
・ 石膏ボード
・ コンクリート
・ ALC板
・ 木材

〈使用上の注意〉

- PPEホルダー以外の目的で使用しないでください。
- 組み立ての際は手袋などで手を保護し、ケガをしないよう注意してください。
- 取り付け場所の強度・状態などを確認の上、設置してください。
- 素材の性質上、折り曲げた際に白濁することがありますが、製品強度への影響はありません。
- 変形の原因になりやすいため、高温や直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 本体が破損する恐れがあるため、ネジを強く締め過ぎないでください。
- 本体にひび割れなどが発生した場合は、新しい物と取り替えてください。
- アイウェアをホルダーに掛けている場合は、落下を防ぐため、取り外してからPPEの箱を交換してください。

〈①「マグネット」使用上の注意〉

- マグネットを使用する場合は、磁気の影響を受けやすい機器などの近くに設置しないでください。

- マグネット同士を近づけないでください。また、マグネット単体を壁などに付けしないでください。磁力が強力なため、ひび割れや離せなくなる恐れがあります。

〈②「壁付ネジ」使用上の注意〉

- 工具を使用する際はケガをしないよう注意し、必要に応じて安全防護具を着用してください。
- 壁内の配線や配管に注意して取り付けてください。
- コンクリート、ALC板、木材などの硬質壁に使用する際は、5%程度大きく下穴を開けて使用してください。
- 安全荷重は、最大引き抜き強度の1/4以下を目安としてください。
- 引抜強度は壁の種類や強度及び施工条件に大きく影響されます。
- インパクトドライバーを使用する際は、低速で確認しながら取り付けてください。
- 壁を破損する恐れがあるため、必ずPPEホルダーと一緒に締め付けをしてください。